

# 令和8年度学校経営方針

校長 元澤 朋子

- 1 校訓 ひとつのつぼみはいちどしかひらかない
- 2 教育目標 しなやかに たくましく 生き抜く生徒
- 3 努力目標 志をもって自ら学ぼう (知)  
心豊かに互いを大切にしよう (徳)  
粘り強く心身を鍛えよう (体)

## 基本は「いのち最優先」

### 4 学校経営の方針

(1) 目指す学校像 **自分の成長を実感できる楽しい学校 安心して失敗できる学校**

- そのために
- 見通しをもたせ、振り返りで自分の取り組みを次に生かさせる。
  - 道徳教育の充実。「多様な価値観」を受け入れる土壌づくり)
  - 小さいことでも「いいね」をばらまく。(誉める指導)
  - 小さな「挑戦」の機会を増やす。そして認める。
  - 「困った」「助けて」が言える雰囲気づくりに励む。

(2) 目指す生徒像 **仲間とつながり、自分の力を信じて頑張りぬく生徒**

- そのために
- キャリア教育の充実。「未来への架け橋」等をつなげる。
  - 夢がもてない生徒も受け入れる。(寄り添う)
  - 活動を通して、夢につながる指導に努める。
  - 行事や委員会等の「活動の見通し」と「振り返り」を重視する。

(3) 目指す教師像 **生徒の「気づき」を促し、生徒の「成長」を後押しできる教師**

- そのために
- 生徒の「声なき声」に耳を傾ける心のゆとりをもつ。  
\*学びの成果が上がらないことを、指導を含め謙虚に考える。  
(家庭環境 生育歴 学ぶ意味 授業づくり その他)
  - 「気づく」「分かる」授業づくりに向け自己研鑽に励む。  
\*50分間の授業で一つでも「気付いた」「分かった」「できた」を感じさせる。  
(興味をもたせ、学びが楽しいと思えるための授業改善)

謙虚に  
丁寧に

### 5 令和8年度学校目標

自ら**考動**し **自分を高める**ことができる **しなやかで強い**小中野中生

- 「気づき、考える」
- でることを「実行する」

- 向上心をもって物事に取組む
- 他の人の考えも前向きに受け入れる

- 限界を決めず「みんなて」頑張る
- 自分や周りの頑張りを認め合う

〔重点施策〕

知 『主体的に学び、学びを生かす生徒の育成』 (R8研究主題)  
～レジリエンス教育の視点を意識した集団づくりを通して～

具体的取組

- ① 目的意識をもって自ら学ぶ生徒の育成
- ② 論点を明確にした話し合い活動の設定
- ③ 安心して失敗できる人間関係づくり (周りの意見を認め、尊重できる生徒の育成)

レジリエンス (resilience) とは

逆境、困難、ストレス、重大な危機に直面した際に、折れることなく「しなやかに立ち直り、適応・回復する能力」のことです。

⇒ 「素直で穏やか」な小中野中生。

加えて、自己有用感や自己肯定感を高め、折れない心、頑張り抜く姿勢等、「しなやかさ」を育てていくことを目指します。

徳 話し合いを軸とした、「つながりと発見」のある活動の設定

具体的取組

- ① 道徳的価値の内面化を図るための授業と諸活動の連携
- ② 見通しと振り返りを重視した諸活動の推進
- ③ 生徒が楽しいと感じる、生徒主体の場の設定

体 心身の健康と向き合い、自らの課題を解決する場の設定の工夫

具体的取組

- ① 基本的生活習慣の向上を促す場の設定 (早寝早起き朝ごはん・受診率の向上)
- ② 心のSOS「困った」「助けて」を言える環境づくり

令和8年度生徒会テーマ

『共創<sup>きょうそう</sup> ～仲間と協力し ひたむきな歩みを楽しむ コナ中生～』



テーマ絵は、手前を「今までの大陸」、奥を「これからの大陸」として表現しています。道はそこへ向かう過程、橋のレンガ一つ一つはこれまでに積み重ねてきた努力や苦労を表します。橋は協力して作る『共創』そのものを意味し、絵全体を通して「明るい未来へ向かって仲間と協力して進み、よりよい学校を目指していこう」という願いと決意を伝えるために制作されました。

1年間、体育館ステージに掲げられます。